

5 月 27 日から今年度の図書購入が始まりました。図書購入費は、公費であることを十分に理解し、今年度も学校として必要な資料を円滑に購入してください。

6 月は、読書月間（旬間・週間）を計画している学校も多いと思います。児童・生徒全員が日々の学習や読書で学校図書館を活用するよう、各教科等での指導をお願いします。

オリンピック・パラリンピック関連図書の収集

リオデジャネイロ・オリンピックが終わると、「東京都オリンピック・パラリンピック教育」が本格的に開始されます。

『東京都オリンピック・パラリンピック教育』実施方針（平成 28 年 1 月）は、「オリンピック・パラリンピックの精神」「スポーツ」、「文化」、「環境」の 4 つのテーマを設定し、「学ぶ（知る）」「観る」「する（体験・交流）」「支える」の 4 つのアクションを組み合わせた多彩な取組を示しています。今後、関係図書が次々に出版されることが予想されますので、各学校に必要な資料の収集をお願いします。

すでに、オリンピック・パラリンピック関係の資料を図書購入のリストに入れている学校もあります。オリンピック・パラリンピック関係の本や国名が書名になっている本はもちろんのこと、年鑑や特産物を扱っている本、スポーツの本、障害をテーマにしている本、アスリートの伝記、我が国の伝統文化など、様々な観点から選書することができます。

また、新聞記事や雑誌記事のファイル資料の整備もお勧めします。

学校図書館支援員との連携

学校図書館支援員の授業支援が広がり、資料の準備やブックトークによる資料紹介、読み聞かせなどは、多くの学校でなされています。さらに、授業中の児童・生徒の資料探しの支援（レファレンス）など学校図書館支援員による授業補佐も行われています。

年鑑や百科事典等参考図書の使い方の指導については、計画の確認をお願いします。参考図書の利用指導を行うことにより、百科事典や年鑑が身近になり、児童・生徒が活用するようになります。児童用百科事典は、子ども図書館から数セットの貸し出しを受けることができますので、グループごとに 1 セット使用できます。百科事典や年鑑の使い方などのレクチャーも学校図書館支援員の支援が可能です。

授業をするのは、教員であることを踏まえた上で、学校図書館支援員の授業支援を有効に活用してください。学校図書館スタッフ（スクールスタッフ）との連携も可能です。

「学校図書館便り」の作成や図書の購入・払い出し（廃棄）などは、司書教諭や学校図書館担当者と学校図書館支援員、学校図書館スタッフ（スクールスタッフ）との連携の在り方を考えていきましょう。

読書感想文の指導

毎年お伝えしておりますが、新宿区では読書感想文は 2 学期に学校で指導するようにしています。1 冊の本と対峙して深く考察し、自分の思いを文章で表現できるように、作文や読書の指導を計画的に進めてください。また、選書を重視し、児童・生徒と本とのさまざまな出会いを作ってください。

指導に当たっては、人権、盗作・剽窃、誤字・脱字、表記等に関する指導も行い、学校代表作品は、念入りに点検してください。インターネットの「しんじゅく学校図書館」のサイトに指導資料を掲載していますので、指導の参考にしてください。

なお、読書感想文集「けやき」の審査会は、全国青少年読書感想文コンクール地区審査会を兼ねています。